

大船渡市スポーツ推進計画 施策・事業評価シート（令和5年度）

【資料3(2)】

基本方針	スポーツを通じたにぎわいあるまちづくりの推進
------	------------------------

1 基本施策（計画掲載事項）

基本 施策	(1) スポーツによる交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育大会など市民がスポーツに親しむ機会の創出を図り、市民間の交流機会の拡充を促進。</li> <li>大船渡市スポーツ交流推進連絡会議など横断的な連携を図りながら、合宿、イベントの誘致を進め、地域経済の活性化とにぎわいを創出。</li> <li>BMXなど次世代スポーツイベントの開催・支援とSNSを活用した情報発信や、スポーツアクティビティによる地域活性化の推進。</li> </ul>
	(2) 地域でのスポーツ活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>東日本大震災により在り方が大きく変化する地域コミュニティに対し、レクリエーション等のイベントを通じ、新たなコミュニティの形成を支援。</li> <li>スポーツ推進委員の派遣により、地域における自発的なスポーツ・レクリエーション活動を支援。</li> </ul>
	(3) 近隣自治体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな大会などの誘致に向けた近隣自治体との連絡体制の構築。</li> <li>利用者ニーズや利用形態に合わせた施設の補完・相互利用を促進。</li> <li>スポーツに関する様々な情報を幅広く提供できるように、関係団体などと連携。</li> </ul>

2 基本施策の進捗状況・実績

No	基本施策・主な事業	進捗状況・実績	評価
(1)	スポーツによる交流の促進 ・市民体育大会 ・高齢者スポーツ交流大会 ・スポーツ少年団交流大会 ・ニュースポーツ・フェスティバル ・大船渡新春ロードレース大会 ・ポートサイドバレーボール大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民体育大会を開催し、各般の交流促進を図った。14種目で開催（1種目が中止）延べ1,068人参加。【市】</li> <li>大船渡新春四大マラソン大会は、これまでの4つの大会を1つに統合し、名称を「大船渡新春ロードレース大会」に変更して開催した。（参加者1,082人）【市】</li> <li>大船渡ポートサイドバレーボール大会は、新たに陸前高田市の「総合交流センター・夢アリーナたかた」を会場に加えて開催した。（参加 28チーム・383人）【市】</li> <li>気仙地区身体障がい者スポーツ交流会は、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したものの、参集による開催で感染の拡大が懸念されることから開催を見合わせた。</li> <li>東京2020オリンピックレガシー継承事業として、3x3バスケット大会を開催した。（一般の部10チーム、中学生の部8チーム）【市】</li> <li>大船渡アスリート応援団の取組として、以下を実施した。【市】 公認アスリートである佐々木遥香選手が所属する「デンソーテンレッドフェニックス」のバレーボール教室。（小中高生95人） 千葉ロッテマリーンズ冠協賛試合「三陸・大船渡パーフェクトナイター」</li> <li>令和5年度から、住田町のスポーツ施設も対象に加え、「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助」を交付した。2団体が市スポーツ合宿支援補助金を活用して合宿を行った。（延べ宿泊176人、270千円交付）【市】</li> <li>三陸BMXスタジアムにおいて、JBMXF大東建託シリーズ第7戦岩手大会が開催された。（1,000名来場）【全日本BMX連盟】</li> <li>BMX及びスケートボードの合宿、ローカル大会を開催した。【合同会社TXF】</li> <li>甬嶺復興交流推進センターを拠点として、BMX体験及びスキューバダイビング体験を提供した。【㈱三陸アクティブ】</li> </ul>	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことから、各スポーツイベントにおいて、概ね前年度よりも参加者が増加し、スポーツを通じた交流の促進が図られた。 新春ロードレース大会については、参加者数がコロナ禍前の水準に戻らないものの、認知度は高く市外からの参加が多数を占めていることから、事業の目的は果たしている。 また、スポーツ合宿支援補助金は、住田町と連携して住田町内のスポーツ施設を補助の対象に加えたほか、これまでのPRが奏功し、新たな団体の利用があった。
(2)	地域でのスポーツ活動の推進 ・スポーツ推進委員設置運営事業 ・地域公民館対抗卓球大会	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者スポーツ交流会を始め8つのスポーツイベントに市スポーツ推進委員を派遣し、活動支援を行った。（延べ64人）【市】</li> <li>地域公民館対抗卓球大会を開催した。（46人参加）【市】</li> <li>日頃市地区及び越喜来地区における、スポーツ・レクリエーション活動を始めた「地区づくり計画」に基づく活動の実践を支援するため、地区づくり補助金を交付した。【市】</li> </ul>	スポーツ・レクリエーションを通じて、市民の体力づくりと親睦・交流が図られた。
(3)	近隣自治体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡ポートサイドバレーボール大会において、参加選手の熱中症事故防止の観点から、冷房設備が整っている陸前高田市の「総合交流センター・夢アリーナたかた」を競技会場に加えた。【市】</li> </ul>	近隣自治体とのスポーツ施設の相互利用が促進された。

3 指標達成状況と進捗度評価

指標	単位	基準値		実績値					目標値		達成率	達成率区分	進捗度評価
		R1	R2	R3	R4	R5	R5	R10					
大船渡新春ロードレース大会の参加者数	人	1,656	0	0	1,125	1,082	1,700	1,800	63.6	c	B		
大船渡市スポーツ合宿支援補助金の対象団体数、人数	団体	0	3	1	2	2	3	5	66.7	c			
	人	0	115	53	111	65	60	100	108.3	a			

※達成率=目標年度の直前年度における実績値/目標値×100。達成率区分=a:90%以上、b:70%以上90%未満、c:50%以上70%未満、d:50%未満。

4 課題

【課題】
生涯スポーツの推進と交流人口拡大を通じたにぎわいあるまちづくり
BMXなどスポーツ・アクティビティの取組を通じた交流の創出
地区におけるスポーツ・レクリエーション活動推進のためのニーズ把握
近隣自治体との連携による施設の相互・有効利用
スポーツによる交流促進の重要なツールとなる本市にゆかりのあるアスリートとの関係強化

5 施策・事業の方向性

【方向性】
<ul style="list-style-type: none"> <li>大船渡アスリート応援団の取組や、大船渡新春ロードレース大会などの各種スポーツイベントの実施により、生涯スポーツの推進と交流人口拡大を通じたにぎわいあるまちづくりを進める。</li> <li>交流人口の拡大と市内中高生の競技力向上に資する取組として、住田町との連携により「大船渡・住田定住自立圏域スポーツ合宿支援補助金交付事業」を実施する。</li> <li>三陸BMXスタジアム運営事業者が主体となり、次年度以降のJBMXFの開催誘致を進めるとともに、BMX及びスケートボードの合宿やローカル大会を実施する。</li> <li>地区・地域でのスポーツ活動については、各地区などのニーズを踏まえながら、スポーツ推進委員の派遣等により、スポーツ・レクリエーション活動を含めた地区づくりを支援していく。</li> <li>スポーツ合宿誘致、施設の有効活用などに関する取組をベースとして、近隣自治体との連携体制構築に向けて検討する。</li> <li>大船渡アスリート応援団の取組を継続して実施することにより、スポーツ振興とシティプロモーションを推進する。</li> </ul>